

辺野古基地について沖縄県と真摯に話し合うことを求める意見書

沖縄県が2019年2月24日に実施した県民投票によって辺野古基地建設反対の県民の意思が明らかになりました。しかし、政府は現在、国の安全保障にかかわる問題として県民の意思を尊重せず埋め立て工事を進めています。

国土の約0.6%の沖縄が在日米軍専用施設・区域の約70.3%を負担するという苛酷な状況から生まれる苦痛は察するに余りあります。一地方自治体の民意を政府が考慮を払わないことに沖縄県外の住民としても看過できません。

沖縄県民の意思に寄り添って、政府が沖縄県と真摯に話し合ってくださいと求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

内閣総理大臣
国土交通大臣
防衛大臣宛

千葉県我孫子市議会